

# 事務事業評価シート

評価実施年度：平成29年度

上位の施策名称	施策I-6-3 空港・港湾の維持・整備
---------	------------------------

## 1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	港湾空港課長 土肥美実	電話番号	0852-22-5228
----------	-------------	------	--------------

事務事業の名称	港湾整備事業		
目的	(1) 対象	国内・海外への貨物の移出入を行うため港湾を利用する県内企業	
	(2) 意図	貨物の運送や荷役が安全で効率的に行えるようにする。	
事業概要	物流拠点となる県管理港湾において、より安全で効率的な利用に向けて、岸壁や防波堤等の港湾施設を整備する。		

## 2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 岸壁の整備率	目標値		93.6	93.6	94.4	96.0	%
		取組目標値						
	式・定義 岸壁の実施済み延長／岸壁の計画総延長	実績値	90.9	94.2				
		達成率	-	100.7	-	-	-	%
2	指標名 防波堤の整備率	目標値		75.6	80.4	87.7	95.0	%
		取組目標値						
	式・定義 防波堤の実施済み延長／防波堤の計画総延長	実績値	67.7	72.4				
		達成率	-	95.8	-	-	-	%

## 3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	1,366,430	2,467,315
うち一般財源 (千円)	253,718	526,487

## 4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

## 5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

<ul style="list-style-type: none"> <li>岸壁整備は概ね計画どおり進捗している。</li> <li>防波堤整備は目標を概ね達成しているものの、岸壁に比べ整備率が十分でないため、荒天時の港内静穏度が低く、利用企業に負担を強めている状況。</li> </ul>
--

## 6. 成果があったこと（改善されたこと）

<ul style="list-style-type: none"> <li>浜田港の防波堤整備により航路泊地の静穏度が向上しつつある。（東側200mは完成済み、西側200mの内、180mが暫定完成）</li> <li>松江港の老朽化した岸壁の改良工事がH28年度に完成。</li> <li>河下港では、H27年度から防波堤海上工事に着手。</li> <li>江津港では、導流堤の改良工事にH29年度から着手。</li> </ul>
--

## 7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

<p><b>①困っている「状況」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>浜田港においては、防波堤整備により航路泊地の静穏度が向上しつつあるが、荒天時には荷役作業が難しい場合もあり、通年で荷役作業が可能となるよう利用者から要望されている。</li> <li>河下港においては、H27年度から防波堤海上工事に着手したが、ライフラインとなるLNGの基地や建設資材の荷役等があり、荒天時の船舶入出港に制限を受ける現状を早期に解決してほしい（港内静穏度の確保）と要望されている。</li> <li>江津港においては、導流堤の沈下により入出港船舶が横波を受け、危険な状況となることから、早期の導流堤改良を要望されている。</li> </ul>
<p><b>②困っている状況が発生している「原因」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>港湾施設整備には、多額の事業費を要するため、優先順位を付け整備を進めているが、特に水深の深い位置に設置する防波堤や、延長が長い導流堤の整備には予算が必要となり、進捗率が上がらない状況。</li> </ul>
<p><b>③原因を解消するための「課題」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>限られた予算の中、コスト縮減を図り、計画的な施設整備を行っていく必要がある。</li> </ul>

## 8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

<ul style="list-style-type: none"> <li>限られた予算を有効に活用した港湾整備を行うため、コスト縮減を図りつつ、優先順位を勘案して整備を進める。</li> </ul>
---